

# リハビリテーション科 キャリアアップシステム

## 教育目標

- ① リハビリテーションセンターの対象疾患(脳血管障害、脊髄損傷等の中枢神経疾患、運動器疾患、神経筋疾患、小児疾患等)は幅広いため、総合的な能力を備えながら、専門的知識、技術を習得し、より効果的なリハビリテーションを提供できる。
- ② 質の高いリハビリテーションを提供するため、自己研鑽を怠らず、研究能力を高める。
- ③ 主体的に課題に対して取り組み、問題解決能力を高める。
- ④ リハビリテーションチームの一員として、より良い人間関係を築ける。
- ⑤ 組織における自らの役割を認識し、遂行できる。

## キャリアアップ プログラム

### I レベル1 (1年目)

#### ● 目標

- ① 基本的な知識、技術を習得する。
- ② 基本的な治療を指導のもとに行える。
- ③ 県内学会での新人発表、症例報告会での発表

#### ● 研修計画

- ① 新人教育プログラム(4～5月): 共通内容、各部門別
- ② 各部内での勉強会、症例報告会への参加
- ③ レベル1に推奨される院外研修会への参加
- ④ 各療法士会の新人教育プログラムの受講
- ⑤ 法人新規採用者研修(前期、後期)への参加
- ⑥ 法人医療専門職教育研修への参加

### II レベル2 (2～3年目)

#### ● 目標

- ① 基本的な治療を自立して行える。
- ② 臨床実習でのサブバイザーを務める。
- ③ 県内学会での発表、症例報告会での発表

#### ● 研修計画

- ① 各部内での勉強会、症例報告会への参加
- ② レベル2に推奨される研修会への参加
- ③ 法人医療専門職教育研修への参加

### Ⅲ レベル3（4～5年目）

- 目標

- ① 自分の専門領域を見つける。
- ② 臨床実習でのスーパーバイザーを務める。
- ③ 県外学会での発表、症例報告会での発表

- 研修計画

- ① 各部内での勉強会、症例報告会への参加
- ② 各部内での勉強会、症例報告会での講師
- ③ レベル3に推奨される研修会への参加
- ④ 法人医療専門職教育研修への参加

### Ⅳ レベル4（5年目以降）

- 目標

- ① 自分の専門領域を高める。
- ② 臨床実習でのスーパーバイザーを務める。
- ③ 臨床場面での指導ができる。
- ④ 教育担当の責任者
- ⑤ 県外学会での発表、症例報告会での発表
- ⑥ 論文発表

- 研修計画

- ① 各部内での勉強会、症例報告会への参加
- ② 各部内での勉強会、症例報告会での講師
- ③ レベル4に推奨される研修会への参加
- ④ 長期研修会への参加、職員への伝達
- ⑤ 大学院進学への支援  
(支援方法については法人本部と交渉)
- ⑥ 各認定療法士取得に向け専門療育研究会への入会  
学会発表、論文発表、講師経験を積み上げていく。  
(支援方法については法人本部と交渉)
- ⑦ 法人医療専門職教育研修への参加